

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

(2019年7月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 43

1. サイクルサポーター活動を開始します

サイクルサポーター(大阪市放置自転車等啓発指導員制度)として活動するため、大阪市建設局様、市岡工営所様、中央区役所様から制度をご説明頂きました。

サイクルサポーターによる啓発活動とは?
 大阪市が管理している道路上に放置しようとする自転車利用者への啓発または、点字ブロック上や幅員の狭い道路上など特に危険な状態にある放置自転車を安全に整理し移動することができます。サイクルサポーター活動は、来月より開始します。



(出典) 大阪市資料

2. 御堂筋アーバンデザインスクール

今年度より、会のさらなる活性化をめざし、都市デザインを志す学生が御堂筋で演習・提案等を行う機会を支援する「御堂筋アーバンデザインスクール事業」を開始しました。この定例会では、関西大学住環境デザイン研究室(岡研究室)が、4~7月の3ヶ月間に渡って取り組んだ調査と提案について発表しました。発表後は、会員との意見交換が行われました。



調査 1 **グランドレベル 歩いていて感じる御堂筋の特徴を明らかにする**
 ① 沿道の1Fの用途を11の業種に分類して分析 ② 道路空間の現状を「座る空間」「植栽」等の視点で分析

調査 2 **ナイトエコノミー 御堂筋の夜の現状を明らかにする**

① 20時以降の営業時間の平面図から分析

② 御堂筋の夜景景観を立面図から分析 (20時の御堂筋)

道頓堀が御堂筋におけるナイトエコノミーの受け皿に

調査 3 **通りと角地 御堂筋と交わる18の通りに着目し、周辺エリアと御堂筋との関わりを明らかにする**
 ① 東西18の通りをそれぞれ4地点から撮影 ② 撮影した写真を、幅員、道路構成、標識など16項目から分析

- 提案 御堂筋をアップデートする6つの提案**
- ① 歩行空間を使いこなす
 - ② 御堂筋内のエリア特性を生かす
 - ③ 道頓堀への惹き込みをつくる
 - ④ 店舗照明を賃貸するナイトアクティビティ
 - ⑤ 周辺エリアから見た御堂筋という視点を持つ
 - ⑥ 御堂筋ではなくミナミというエリアで捉える

会員からの意見

○御堂筋で商売をするには、店だけでなく、まち全体で人を呼び込むことが重要であり、発表内容はぴったりはまっていた。ミナミは個性豊かなまちが集まっている、ということに注目されたの素晴らしかった。
 ○御堂筋という空間だけでなく、背景である都市や地域を捉え、その魅力を一体的に示していた。まちづくりへの思いはあっても、このような調査に基づきエリアを体系的にすることは、なかなかできない。特性等をひとつずつ捉えることが大事であると改めて感じた。学生のパワーは大きい。まちづくり団体が学生と一緒に取り組むことは意義がある。

3. (一社)御堂筋まちづくりネットワーク様より情報提供

本町以北の御堂筋沿道組織である『一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク』様(大阪ガス 三好様、竹内様、竹中工務店 大西様)より、活動内容等についてご講演頂きました。

一般社団法人御堂筋まちづくりネットワークとは

- 目的 「活力と風格あるビジネスエリア」としてエリアの価値向上を図る
・地元視点からエリアの課題と改善策を検討し、行政や経済団体とのパートナーシップを図る
- 設立 2001.12.12 (2017.7 任意団体から一般社団法人へ移行)
- 会員 正会員 43社、テナント会員 8社、その他会員 3社 (2019.7現在)
- 活動エリア 御堂筋沿道のビジネス地区(土佐堀川～博労町通り間)

街路空間再編への提言 『緑陰とにぎわいの街路づくり』

御堂筋を“安全に安心してそぞろ歩ける快適な歩行者空間”としていくことで、エリア価値を向上していくことを目指した提言書

コンセプト

1. 利便性、安全性の高いみち
2. 都市格を象徴する上質な景観
3. 憩える・楽しめる快適なみち
4. 交流、知的刺激のあるみち

街路空間再編の考え方

1. エリアの資産を継承、活用する
2. 道路断面構成を再編し、部分的にまとまった憩い、交流ができるオープンスペースを創出する
3. 新たな魅力を付加する

(仮称)御堂筋パークレット 社会実験

- 2017.11.20 (月)～2018.5.21 (月)
御堂筋 淀屋橋オドナ前の歩道及び一部車道
- 2019.8.1 (木)～2020.1.8 (水)
御堂筋 本町ガーデンシティ前歩道及び車道



御堂筋パークレットの様子 (出典) 御堂筋まちづくりネットワーク Facebook

一般社団法人への移行 (2017年7月)

- 2017年2月: 臨時総会で移行決議
- 2017年6月: 定時総会で定款・体制等を決議
- 2017年7月: エリアのマネジメントを行う地域組織として「任意団体」から「法人組織」へ移行した

- ① 対外的な信用力向上 (将来的な都市再生推進法人も視野に)
- ② 組織の自立 (法人の有限責任に)
- ③ 財源確保 (自主事業の展開や助成制度支援対象に)

会員からの意見 ○一般社団法人化するにあたって苦勞したことや問題はあったか。
⇒特に苦勞したことはなかった。今後、収益事業を進めていくと、税金が掛かるようになる。

4. その他 報告事項

(1) 御堂筋イルミネーション

御堂筋イルミネーションについては、現在、大阪観光局とカウントダウンやスポンサードに関して協議を進めています。

(2) 新規ご入会 (株)ケシオン様

2019年7月、賛助会員としてご入会されました。

(3) ホテルロイヤルクラシック大阪様

2019年12月にグランドオープンされます。今回の定例会には、開業準備室 営業部長 坂口邦男様をご出席されました。

定例会 参加者	【正会員】	中西(株式会社大丸松坂屋百貨店)、高士(都島自動車株式会社)、鎌谷・三輪(三菱商事・ユービーエスリアルティ株式会社)、奥村(株式会社泉屋商店)、高橋・福崎(株式会社スポーツタカハシ)、藤本有(株式会社播重)、堀口(株式会社どうとんぼり神座)、池田(有限会社泉屋)、平井(光明興業株式会社)、吉田・山中(株式会社ベルコ)
	【賛助会員】	井原(株式会社アイ・プランニング)、辻(イチエイ商事株式会社)、島田・鈴木・安田(東京建物株式会社)、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)、中嶋(CBRE株式会社)、多田(株式会社ケシオン)
	【オブザーバー】	田邊・伊藤・中野・中島(大阪市建設局方面調整課)、丸市・橋本・矢野(市岡工営所)、山本・中村(中央区役所市民協働課)、三好・大西・竹内(一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク)、坂口(ホテルロイヤルクラシック大阪 開業準備室)、門重・脇田・淵田(ミナミまち育てネットワーク)、森(株式会社日本エスコン)、岡(関西大学 環境都市工学部 教授)
	【御堂筋UDS※】	太田・平松・宮村・新開・二川・堀・清水・丹羽・松下(関西大学) ※御堂筋アーバンデザインスクール
	【事務局】	中塚・絹原・竹林(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2019年 8月26日(月) 16:00～** 難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール
(御堂筋イルミネーションの取り組み等について議論する予定です)